

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8202
担当部課名	企画部	文化国際	課	
事務事業名	国際交流事業(国際化推進事業支援金)		事業コード	18120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第8章	国際平和と人権が尊重される社会を実現します。	事業開始年度
基本施策名	第1節	世界と共に生きる地域社会の実現	10
施策名	第2施策	国際交流・国際協力の推進	年度

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市国際化推進事業支援金交付要綱、相模原市国際化推進事業支援金交付要綱取扱基準
さがみはら国際プラン(平成6年3月策定)

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
「相模原市国際交流基金」の運用益を活用し、相模原市民の国際理解を深め、国際協調を促進し、地域の国際化を推進する活動を積極的に支援するため、相模原市内に活動拠点を有する市民団体が主体的に企画し実施する事業に対し、相模原市が支援金を交付する。		市民団体	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1. 対象となる事業と交付額 (1) 国外派遣事業 市民団体が、訪問団を国外に派遣する事業 一人5千円(1事業につき10万円以下) (2) 国内交流事業 国外から招聘又は外国人等と交流する事業 訪日団招聘 事業費の3分の1以内で30万円以下 外国籍交流 事業費の3分の1以内で20万円以下 (3) 国際協力事業 国外への人的・物的支援を目的とする事業 事業費の3分の1以内で20万円以下 2. 平成13年度実績 14件 2,299,000円 国外5件、国内9件、国際協力0件		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	当初予算額	決算額(単位:千円)	交付実績件数
指標式			申込み件数/交付件数
指標設定の意図	予算額に対する決算額の割合を見るため。	同左 平成13年度は当初予算額を上回ったため、予算運用で対応した。	交付実績件数の推移を見ることにより、市民のニーズを把握するため。

5 目標と実績

〔金額単位:千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	2,000.0	1,500.0	a 1,500.0	b 1,500.0	1,500.0
指標	982.0	1,136.0	c 2,299.0	d 1,500.0	1,500.0
指標	9.0	7.0	e 14.0	f	
事業費	決算(予算)額	982	1,136	2,299	1,500
	人員・時間数	21時間	16.4時間	32.7時間	
	人件費	88	69	137	
	その他経費				
合計	1,070	1,205	2,436	0	1,500
特定財源	646	385	283	283	180

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 126.6%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} = \frac{1,500.0}{1,500.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{2,299.0}{1,500.0} \times 100 = 153.3\%$	$\frac{e}{f} = \frac{14.0}{\quad} \times 100 =$
--	--	---

理由: 事業費の3分の1補助という内容にもかかわらず、年度ごとに実績額が増加しており、制度の浸透とともに、本市の国際化が促進されている事を示す一つの現れと思われる。平成13年度は最終的に当初予算額を上回る申請があり予算流用で対応できたが、財源が厳しい中では申請の動向を見ながら助成金額見直し等を考える必要がある。

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由: 国が推奨する民間団体の友好交流等の活動を行政が支援する「パートナーシップ交流」など、市民レベルでの多様な国際交流を促進するためには有効な補助制度である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由: 市民を対象とした事業で、補助額は事業費の3分の1の額であり、上限も定めていることから、費用対効果は妥当である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由: 相模原市の市民団体が、市民を対象として国際交流等を目的として行う事業に対し、市が支援して行くことは必要であり、県や民間などからの支援とは異なるものである。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由: 補助制度の存在には満足されているが、補助額に上限があることや予算の範囲内との定めがあり、予算額が潤沢でない中では、申請時期の違いによる公平性や実質的な補助額の面で多少の困難性がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由: 市民自らが企画し、市民を対象として行う事業を市が補助し支援することは、世界と共に生きる地域社会を実現する上で極めて有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明: あらゆる機会をとらえ支援金制度の浸透を図り、市民団体の国際交流等の活動を支援するとともに、支援金予算の維持、増額に努力する。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明: 本事業に係る経費は、補助申請に伴う審査及び補助金支出等の人件費だけであることから、コスト改善の余地はない。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>< 横浜市国際交流協会 > 国際交流・協力活動助成 重点助成及び市民交流助成 助成金額 100万円以内(事業対象費の2分の1を上限) 一般助成 助成金額 30万円以内(事業対象費の2分の1を上限) 平成13年度実績 28件 8,520千円</p>	
		<p>今後の進め方</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>説明 申請件数が毎年伸びていることやグローバル化が進展する中、市民レベルでの国際交流等を促進するためには、このような市民による活動を継続して支援してゆく必要がある。財政事情の厳しい中、団体に対する一定の公平性を保つために補助額の見直しを行い、平成14年度から国内交流事業の限度額を30万円から20万円に、国際協力事業の限度額を20万円から15万円に引き下げた。また、本市が現在検討を進めている「パートナーシップ型まちづくり推進指針」の策定結果に鑑み、今後再度見直すことも検討する。</p>

8 二次評価における変更点

--